

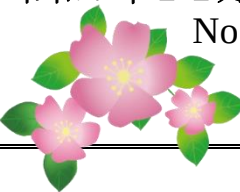
宗岡第二小学校だより

令和7年11月号
No. 7



学校教育目標

よく考える子 やさしい子 たくましい子



目標をもって、地道な努力を

校長 赤沢 直幸

運動会では、平日実施にも関わらず多くの方にご来校いただきありがとうございました。子どもたち一人ひとりが最後まで力いっぱい走り抜け、仲間を応援し合う姿が印象的でした。限られた練習期間の中、学年・学級で声をかけ合い、協力しながら本番を迎えたことが、競技の一瞬一瞬に表れていました。勝ち負けを超えて、



「自分の力を出し切ること」「仲間と力を合わせること」の素晴らしさを感じさせてくれる運動会でした。この行事を通して、子どもたちが一步步成長していく姿を目の当たりにしました。うまくいかないことがあっても、何度も挑戦し、少しずつ上達していく。その積み重ねこそが、本当の「努力」なのだと思います。派手な成果はなくても、日々の小さな挑戦を続けることが、やがて大きな力になります。

ここからはそんな運動会の様子と重なるところがあるかもしれませんが…。

今年のノーベル賞では、二人の日本人研究者が受賞するという大変嬉しいニュースがありました。生理学・医学賞の坂口志文氏は、免疫の働きを抑える「制御性T細胞」を発見し、がんや難病の治療に新たな道を開きました。化学賞の北川進氏は、空気中の気体を吸着・分離できる「金属有機構造体（MOF）」を開発し、環境やエネルギー分野での応用が期待されています。

お二人の研究は、すぐに結果が出るものではありません。数十年にわたって地道に実験を続け、失敗を重ねながらもあきらめなかったことが、大きな成果につながりました。その姿は、まさに「一步步の努力の積み重ね」の大切さを教えてくれます。

学校生活も同じです。勉強、運動、友だちとの関わり——どれも一日で上手になることはありません。

- ・毎日少しずつ自主学習をする
- ・苦手なことに挑戦する
- ・仲間のよいところを見つける（真似る）

こうした地道な取り組みを続けていくことで、少しずつ自信が育ち、目標に近づいていきます。



11月は、学習や生活の面で一年の後半の中でも大切な時期です。これまでの歩みをふり振り返り、「これからの自分」を思い描くよい機会です。運動会で見せてくれたひたむきな姿を胸に、日々の努力を積み重ねてほしいと思います。

保護者の皆様、自分の目標に向かって歩み続ける子どもたちを、共に育て応援していきましょう。

——目標をもって、地道な努力を。